

平成27年度水環境保全活動状況報告書

◆ BDF事業の取り組み及び目的

菊の里は、障がい福祉サービス事業所の「生活介護、就労継続支援B型」を運営しており、通所利用者の就労と生活訓練・職業訓練を兼ねて公共施設や飲食店、各家庭から出された廃食用油（各種団体の協力による食廃油集積所等）の回収を行い、精製・売買するBDF（バイオディーゼル燃料）事業に平成19年度から取り組みました。

食廃油回収によるごみの減量化とリサイクルによる燃料への資源化として活かすので、公共下水道施設や河川への流失を制御する等、障がい者の支援の他に下水道施設の処理負担軽減や環境保全に貢献する。

◆ 活動の内容

利用者と共に食廃油回収先（二本松市及び本宮市内の小・中学校13校、学校給食センター4か所の購入契約を締結。JAみちのく安達・二本松商工会議所女性会、本宮市民活動等各種団体の協力。福島県庁消費組合食堂他各飲食店）から廃食用油を回収する。



◆ 精製作業

- ① 回収した廃油から油かすを取り除きます。
- ② 遠心分離浄油装置により廃油不純物を除去し浄化します。



- ③ BDF製造装置（反応缶）は、浄化された廃油に水・メタノール等の触媒を加え加熱処理して精製します。



◆ 販売状況

- ① 完成したBDFは、自動車の燃料として自家消費及び地方公共団体並びに福島交通の1部に提供しています。
- ② また、自動車以外の利用として施設空調設備のヒートポンプの燃料として利用しています。
- ③ さらに、精製時に産出する副産物のグリセリンは、農業における堆肥化の促進剤として、郡内の堆肥センターで利用されています。



福島交通ももりん号バス



施設空調設備ヒートポンプ

◆ 環境学習活動

平成25年から福島市内の中学校環境学習の一環として、「バイオディーゼル燃料」として「食用廃油」が利用されていることの講演を依頼される等、環境共生活動にも取り組んでおります。

